

# 子どもの安全を守る ためにできること

## 安全な学校生活を目指して

先月、文部科学省より「学校安全管理に関する取組状況に関する調査」の結果が発表されました。防犯マニュアルの活用から通学路の安全点検、敷地内へ不審者が侵入しないようにするための取組みなど、19項目にわたり全国の国・公・私立の小学校、中学校、高等学校、養護学校や幼稚園などの取組状況を調べたものです。また、文部科学省では、平成14年度から「**子ども安心プロジェクト**」という取組みを始めています。これは平成13年に附属池田小学校で起きた痛ましい事件があり、その後も学校に侵入して子どもの安全を脅かしたり、通学路で子どもに危害が加えられる事件が絶えなかったことから始められ、現在も続けられているものです。この「子ども安心プロジェクト」の柱は次の2点です。

- ・ **ボランティアを活用した地域ぐるみの学校安全**
- ・ **子ども自身が自分の身を守るための教育**

(裏面に続きます)

## 地域ぐるみの学校安全体制を目指します

各都道府県・政令指定都市は、防犯の専門家や警察官 OB 等を**地域学校安全指導員(スクールガード・リーダー)**として各地域の小学校に派遣して、学校安全ボランティアの養成・研修を行っています。また、スクールガード・リーダー自身も担当エリア内の学校を巡回し、それぞれの学校の安全体制や警備のポイント、不審者への対応などを指導したり、助言したりしています。このスクールガード・リーダーは全国で2400人配置されていて、おおよそ1人で10校を担当している計算になります。ちなみに横浜市では、実に89.6%の小学校で地域ボランティアによる学校内外の巡回警備が行われています。これらの取組みを通じて、各地域の学校安全ボランティアを中心とした学校安全体制を整備することが、このプロジェクトの大きな柱のひとつです。

## 子ども自身が自分の身を守る

もうひとつの大きな柱は、子どもたち自身が自分の身を守るための教育です。文部科学省では「**大切ないのちとあんぜん**」という小学校低学年用の防犯教材を作って全国の小学校に配布しています。子どもたちの力は弱く、自分の身を守ることはとても難しいことですが、少しでも心構えや備えをすることはとても大切なことではないでしょうか。

### おこのぎ八郎さんを支援する会

横浜市神奈川区反町1-7-1

TEL:045(323)6000 FAX:045(323)2974

E-mail: g00833@shugiin.go.jp

<http://www.hachirou.com>